サポート研（全国障害者生活支援研究会）ワークショップ

オープン･ダイアログ（開かれた対話）から学ぶ支援の本質

◆日　時：平成２７年９月１９日（土）15:00～17:30
◆会　場：港区立障害保健福祉センター7 階　竹芝小ホール（地図は下記）

◆映画：「オープン・ダイアログ」
（開かれた対話による「精神病」アプローチ）
◆講演：「オープン・ダイアログの意義」
山本眞理氏（全国「精神病」者集団）

◆参加費：サポート研会員は無料　　それ以外の方は 2,000 円（資料代など）

フィンランドで開発された「オープン・ダイアログ（開かれた対話）」が、世界の注目を集めています。発症2年後で、約2/3が神経遮断薬を服用せず、約3/4が再発せず、約4/5が就労していると報告されています。患者本人が参加して、2～3人の医療スタッフと家族や職場等関係者のミーティングが行われます。ミーティングでは、医療スタッフも患者本人や家族等も、対等・平等な関係が保たれます。医療スタッフ間の意見交換も、患者本人の前で行われます。「患者本人抜きで本人のことを決めない」ことが前提です。

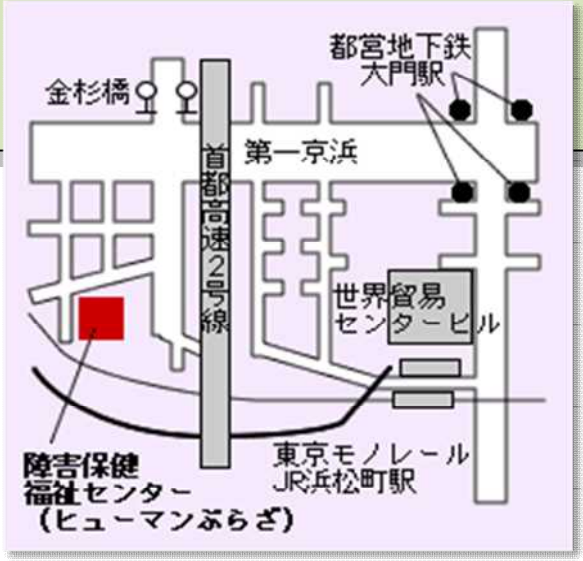
薬物治療や入院に依存せず、本人のエンパワメントを中核に据えたこのアプローチは、知的障害や発達障害の人への支援の本質を考える上でも、根本的な課題を示していると思われます。

ドキュメンタリー映画「オープン・ダイアログ」と、精神障害当事者として国際的にも活動されている山本眞理氏の講演をとおして、今後の支援のあり方を共に考えてみましょう。

【当日のプログラム】

１４：３０	受付開始
１５：００	開会・映画・講演
１７：００	討論
１７：３０	終了

【定員】
50 人
申込先着順



サポート研　ワークショップに申し込みます。

このままFAXして下さい。044-271-8788（サポート研事務局　加藤宛）*参加費は当日お支払いください。

なおご不明の点などありましたらサポート研ホームページからかメールにてご連絡ください。

お名前	事業所名（法人名）
所属（記入または○をつける）	①　第　　研究会　あるいは　所属していない　　②会員でない
連絡先	電話　　メール

※サポート研ホームページは　http://support-ken.net/　メールは support-ken@forest.ocn.ne.jp